

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 芦安小中学校

# 芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み  
未来を拓く人づくり

令和3年3月19日 NO.10 芦安小学校長

## よくがんばった子どもたち！

令和2年度も残り10日余りとなりました。年度初めの休校や今までになかった感染症対策等々に戸惑いながらも、芦安小学校の児童は元気に伸び伸びと楽しく生活することができました。

児童の安全も第一にしながらも、工夫してできることをしていこうという方針で多くの行事に取り組んでまいりました。保護者や地域の皆様のご協力でも子どもたちの笑顔や確かな成長を見ることができました。改めて感謝を申し上げます。

今は3月23日の卒業式に向けて取り組みを進めています。卒業生・在校生ともに大切な思い出のページにしようと張り切っています。



在校生の合唱練習。上手になってきました。



卒業の日が近づく6年生。

## 6年生を送る会 2月25日

新児童会役員を中心に取り組みました。学年ごとの出し物や、全校でのレクレーションなど、限られた取り組みの時間ではありましたが、とても楽しい時間でした。卒業生に感謝する在校生の思いと、それにこたえる6年生の思いがよく伝わってきて、温かな気持ちになりました。



6年生に関するクイズ



ジェスチャーゲーム



在校生からのプレゼント

## 巣箱の設置 3月4日

2学期に作成した巣箱を、今回も伊東隆雅さんたち地域の方のご協力で学校林に設置しました。巣箱をかける場所は遠くからでもよく見えるところがよいそうで、かけた巣箱は学校からも見ることができます。どんな鳥が入るのか楽しみです。



## 「スマイルタイム」の取り組み

3月からはゲーム感覚でよりよいコミュニケーションを目指すための時間、「スマイルタイム」を始めました。今やっているのは「質問ジャンケン」というジャンケンをして勝った人が質問、負けた人が答えるというものです。これには約束事があります。

- ・「お願いします」と「ありがとう」を伝えること
- ・うなずいて聞くこと
- ・ニコニコ笑顔で接すること

です。互いを認める心を育てることと、それを表情や態度で表す経験を積むことが「質問ジャンケン」のねらいがあります。

子どもたちのコミュニケーションの一層の向上のため、来年度もいろいろな手法で取り組んでいこうと考えています。



## 東日本大震災から10年

子どもたちに東日本大震災のことを少しでも知ってほしいということで、芦安地区（小曾利）にお住まいの伊井実さんが、ご自身が撮影された写真のパネルを貸してくださいました。社会福祉協議会からボランティアとして陸前高田市に派遣された際のもので、海岸の、津波で壊された建物と、そのそばの広大な松林だった場所にたった一本だけ残った松の写真です。

テレビなどで流される当時の映像を目にすると、あの時の何とも言えない気持ちが生々しく思い出され、とても10年前の出来事とは思えません。しかし、今の小学生にとって、あの震災は生まれる前、物心がつく前の出来事です。周囲の大人が自分の体験やその時の気持ちを話して聞かせることは、とても大切だと思います。

写真を見ながら子どもの一人が、保護者の方から聞いた話として、計画停電のこと、ガソリンが不足してスタンドには車の列ができていたことなどを話していました。この児童のご家庭では、あの震災の時のことが話題になったのでしょうか。各ご家庭でも地震や災害について機会を見つけてお話しください。また、地震や災害への備えを確認していただきたいと思います。